モモやサクラなどの外来害虫 クビアカツヤカミキリを 撲滅しましょう!

クビアカツヤカミキリは、幼虫がモモやサクラなどの樹木の内部を食い荒らす 外来生物で、被害が進むと、木が弱り枯れてしまいます。

徳島県内では、平成27年に板野町のモモ園で初めて被害が確認され、 現在では、鳴門市から上板町にかけての県東北部で被害が拡大しています。

あなたの家の、また地域の大切なモモやサクラを守るため、 地域ぐるみでクビアカツヤカミキリの駆除に取り組み、撲滅しましょう!

クビアカツヤカミキリって? どんな被害が出るの?

- 体長2.5~4cm程度の穿孔性の害虫です。
- ・全体に光沢がある黒色で、胸部が赤く突起状になっています。
- モモ、サクラのほか、ウメ、スモモ、アンズなどの樹木の内部に 幼虫が穿孔し、木を弱らせたり、ひどい場合には枯らせることもあります。
- ・幼虫が侵入・食害すると、木の根元近くから、 幼虫の糞と木くずが混ざってウドン状に固まった**フラスを大量に排出** します。



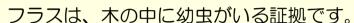


モモの木から排出されたフラス

どうやって駆除すればいいの?

木の周囲を見て回り、

- 1 成虫を見つけたら・・・ すぐに捕まえ、踏みつけるなどして 駆除しましょう!
 - ・成虫は6月下旬から8月にかけて、 主に昼間に活動します。
- **2 フラス**を見つけたら…



排出口に詰まっているフラスを千枚通しなどで掻き出した上で、 口からの針金の差し込みや薬剤の注入*により、幼虫を駆除しましょう!

- ・フラスは、幼虫が木を食害する春から秋にかけて排出されます。
- フラスの排出がなくなるまで処理することが大切です。
- ※ フェンプロパトリン・エアゾール剤(商品名:ロビンフッド)の ノズルをフラスの排出口に差し込み、噴射して使用。



木が枯れたり衰弱したときは・・・

- 強風などによって、枝が落ちたり倒れたりしないよう、 早期に伐採する必要があります。
- 伐採した後は、
 - ・伐採した木を埋設・破砕などで、内部の幼虫を駆除
 - ・切り株をシート等で覆い、幼虫の羽化を防止
 - し、他への被害まん延を防ぐことが重要です。
- ※ 農薬を用いて駆除する場合は、定められた使用基準を守りましょう!
- ※ クビアカツヤカミキリは、農業等に被害を及ぼす「特定外来生物」に 指定され、飼育や移動が禁止されています。

【お問合せ先】

徳島県立農林水産総合技術支援センター・病害虫防除所 (Tel: 088-674-1954)